

【 大 会 規 定 】

- (1) 試合時間は70分でハーフタイムを10分（前半終了の笛から後半開始までの時間）とし、1～2回戦までは勝敗の決しないときはペナルティーキック方式（PK戦）によって次回戦に進むチームを決定する。3回戦以降は20分の延長戦後、勝敗の決しないときはPK戦によって次回戦に進むチームを決定する。
- (2) 選手交代は6名までとする。ただし、準決勝、決勝は5名までとする。
交代は随時、主審の許可を得て行う。この場合、必要事項を記入した選手交代票を本部または第4審判まで提出し、ハーフウェイラインより入ること。
- (3) 試合開始70分前に本部にて両チームのユニホーム確認を行う。審判の判断によりユニホームを決定する。また、30分前までに、メンバー用紙に交代要員（最大9名まで）・スタッフ（最大6名まで）を含め必要事項を記入して、選手証を添えて本部および相手チームに提出しなければならない。選手証により本人確認ができない場合、その選手は出場できない。（選手証の交付が間に合わないときは、追加登録連絡票のコピーを提出すること）
また、準決勝・決勝は試合予定時刻の70分前からMCミーティングを行う。その際にメンバー表を提出すること。
- (4) 選手エントリーの変更および追加は、毎試合最大5名に限り認められる。この場合、選手エントリー変更届をメンバー用紙に付して本部に提出する。なお背番号の変更は認めない。
- (5) ベンチに入ることのできる人数は、交代要員9名、チーム役員6名とし、メンバー用紙にて特定されなければならない。特定された者の中から、その都度1名の者のみが戦術的指示を与えることが出来る。この1名の者は特定の1人に限定される必要はない。
- (6) 本大会において主審より退場を命じられた選手等は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会の規律委員会で決定する。出場停止を受けた場合、フィールド、ベンチ、ロッカールーム等の区域に立ち入ることを禁止する。観客席で観戦することは認められているが、他の選手への指示は認められない。
- (7) 本大会において累積された警告が2回となった選手は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (8) 1回戦から決勝まではミカサ、モルテンの試合球を使用する。なお、1・2回戦は4球、3回戦・準々決勝は5球、準決勝・決勝は7球のマルチボールシステムを採用する。
- (9) その他は「日本サッカー協会規則」による。
- (10) 落雷等による危険事象により審判員や大会本部より試合が中止された場合、再試合を行うことが原則であるが、大会本部の判断で残り時間の消化により試合を成立させることもある。さらに、施設面、安全管理面、日程面等で再試合が不可能な場合、大会本部において試合を成立させること、また抽選等によって勝者（次回戦へ進むチーム）を決定することもある。
- (11) 本大会は全国高校総体および近畿大会の予選を兼ねる。優勝チームは全国高校総合体育大会への出場権を得る。